



大阪市立 東小路小学校

校長名 荒木 浩司
 所在地 〒544-0003 大阪市生野区小路東3-8-15
 電話 06-6751-4465 FAX 06-6751-9397
 URL <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e671490>



主な学校行事

4月	入学式 PTA決算総会(紙面にて)
5月	6年修学旅行 学習参観・懇談会 PTA予算総会(紙面にて)
6月	東小路ドリームランド(土曜授業) 避難訓練(火災) プール開き
7月	期末懇談会 終業式
8月	2学期始業式 給食開始
9月	5年林間学習
10月	運動会 たてわり全校遠足 学習参観・懇談会 就学時健康診断
11月	作品展(土曜授業) 避難訓練(台風)
12月	期末懇談会 2学期終業式
1月	3学期始業式 給食開始 避難訓練(地震・津波) 入学説明会
2月	6年卒業遠足 学習参観・懇談会
3月	6年茶話会 6年生を送る会 卒業式 修了式

教育目標

すべての子どもも大人も安心できる居場所のある学校

重点目標

学校・家庭・地域が三者一体となって自己肯定感を持つ子どもを育てる教育活動を推進する。

令和3年度全国学力・学習状況調査

平均正答率 (%)	国語	算数
	59	66

結果概要

国語、算数の正答率が大阪市・全国の正答率と比べて、どちらも下回っている。国語は大阪市と4ポイント、全国平均とは5.7ポイント、算数は大阪市と3ポイント、全国平均とは4.2ポイント下回った。
 一方、平均無解答率は、国語、算数ともに本校の数値が大阪市・全国平均よりも低く、児童が最後まで粘り強く取り組むことができたといえる。

標準服

無

校訓

正しい子 明るい子 強い子

教育方針

みんながつくる みんなの学校 東小路小

めざす子ども像

自分も人も大切に子ども
 自分で考える子ども
 自分から表現する子ども
 失敗をおそれず何でも、チャレンジする子ども

● 自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

「言葉の基礎基本」「生きた日本語」力を確実に身につけ、国語科の力を向上させるとともに、相手の立場を尊重する姿勢から「自分も人も大切にできる力」を高める活動を進める。また、「日本語検定試験」の実施や「電子黒板を利用した音読指導や漢字指導」の実施など、日本語の総合的な能力を高め、「話すことや聞くこと」の実践力を養う。
 算数科においては、「一人一台学習用端末(タブレットPC)」を日常的に活用して、「個に応じた指導」の充実を図り、「自分で考え、自分から表現する力」の育成に向けて、実践を積み重ねる。
 教科の学習のみならず、学校生活全般において、子どもたちには様々なこと「失敗をおそれず何でも、チャレンジする力」を高めていくような実践を行っていく。

● 自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

本校では、体育行事としてなわとび週間を設定しており、3学期に業間の15分休憩時に週2回を2週間にわたって実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため途中で中止せざるを得ない状況になってしまい、十分な活動をとることが難しかった。
 体力テストの結果から、継続的な活動を行うことが体力の向上につながると考える。そのため、児童の意欲がさらに高まるような用具を充実させたり、子どもたちが運動にたくさん親しめる活動の場を体育行事として広げたりしていきたい。

令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査

種目別平均値	性別	握力(kg)	上体起こし(回数)	長座体前屈(cm)	反復横跳び(回数)	20mシャトルラン(回数)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ソフトボール投げ(m)	合計得点
	男子	19.0	21.38	33.62	41.00	52.69	8.76	147.62	24.69	56.38
	女子	17.55	19.64	43.91	39.73	36.00	9.23	135.27	13.60	57.70

結果の概要

男子は、立ち幅跳び以外の体力合計点含めた全項目が大阪市平均を上回っている。女子は50m走と立ち幅跳び以外の体力合計点含めた全項目が大阪市平均を上回っていた。男子、女子ともに立ち幅跳びが大阪市平均を下回る結果となり跳の運動に課題があることがわかった。
 児童質問紙の「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答では、男子、女子ともに肯定的回答が70%を超えている。また、1週間の総運動時間が60分未満の児童もいないことから体を動かすことが好きな児童が多いといえる。

校長先生のメッセージ

東小路小学校は、今年度80周年を迎えました。「自分も人も大切に子ども」「自分で考える子ども」「自分から表現する子ども」「失敗をおそれず何でもチャレンジする子ども」の育成をめざして、教職員・児童・PTA・地域が一体となって日々の教育活動に取り組んでいます。

運営に関する計画

● 計画のエッセンス

教職員がゆとりをもって子どもたちと向き合えるようにし、確かな学力をつけることで自尊感情を高め、一人ひとりの個性を増やすように互いの人権を尊重し、決していじめを許さず、地域に根差した安心で安全な学校づくりをめざします。

● 中期目標、年度目標等

【安全・安心な教育の推進】

・令和4年度末の児童アンケートにおいて「自分には、よいところがあると思う」の子ども「当てはまる(そう思う、だいたいそう思う)」と答える割合を80%以上にする。
 ・令和4年度末の児童アンケートにおいて「自分も人も大切にしている」の子ども「当てはまる(そう思う、だいたいそう思う)」と答える割合を90%以上にする。
 ・令和4年度末の児童アンケートにおいて、「失敗をおそれず何でもチャレンジしている」の子ども「当てはまる(そう思う、だいたいそう思う)」と答える割合を80%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

・令和4年度末の児童アンケートにおいて、「自分で考える」の子ども「当てはまる(そう思う、だいたいそう思う)」と答える割合を85%以上にする。

・令和4年度末の児童アンケートにおいて、「自分から表現する」の子ども「当てはまる(そう思う、だいたいそう思う)」と答える割合を80%以上にする。
 ・令和4年度末の児童アンケートで、「歯みがきを毎日きちんとしている」の子ども「当てはまる(そう思う、だいたいそう思う)」と答える割合を95%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

・令和4年度末の時点で、日々の学習活動の中で学習者用端末の心の天気やデジタルドリルなどがいずれの学年でも積極的に活用されたか統計をとる。
 ・ゆとりの日の設定を、週1回以上設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては1日以上設定する。
 ・教員の勤務時間の上限に関する基準1(月間45時間未満)を満たす教職員の割合を60%以上にする。
 ・令和4年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、70%以上にする。
 ・令和4年度末の保護者アンケートにおいて「学校は、学校だよりや学年だより、学校ホームページ等で学校や子どもの様子をよくわかるようにしている」の「当てはまる(そう思う、だいたいそう思う)」と答える割合を95%以上にする。

【特色ある学習活動】 および 【家庭・地域等との連携】

特色ある学習活動

■ 「わかる」「できる」「楽しい」算数科の基礎・基本の定着をめざして研究しています

今年度より算数科を研究教科として取り組んでいます。研究の視点を次の3点に置き、授業研究会を通して、研究主題を究明していきます。
 【視点1】計算の基礎・基本の力をつけるための指導法を工夫する。特に計算力をつける工夫として朝の学習で火・金曜日は、計算タイムを設定する。
 【視点2】児童の理解を深めるために、具体的に操作しながら学べる教材・教具を作成するなど個に応じた指導法を工夫する。
 【視点3】ペア学習やグループ学習などの学習形態を授業の中に取り入れ、学び合いの場の設定を工夫する。



家庭・地域等との連携

■ みんなで作る作品展

毎回、どの学年の絵画も立体作品も力作ぞろいの作品を展示しています。土曜日に開催し、子どもたち相互の鑑賞はもちろん、ご家族や地域の方々にも広く鑑賞していただいています。



家庭・地域等との連携

■ PTAと地域の力で子どもたちを育む①

毎年恒例で4・5年生対象に「地域のみなさんとのふれあい授業」でグラウンドゴルフを行っています。こうした活動を通して地域のみなさんに子どもたちのことを知っていただくことで、子どもたちの地域での安心と安全につながっています。



家庭・地域等との連携

■ PTAと地域の力で子どもたちを育む②

保護者のみなさんも子どもたちのために様々なイベントを企画して下さっています。昨年度は、「奇面ショー」を企画していただき、子どもたちは大喜びでした。

